

**2024年3月期**  
**第1四半期 決算説明資料〔IFRS〕**  
 (2023年4月 – 2023年6月)

株式会社 LIXIL  
 2023年7月28日

Copyright © LIXIL Corporation. All rights reserved.

**2016年3月期よりIFRSに移行しています**  
**各段階利益の名称の違いは以下の通りです**

日本基準	IFRS（当社財務報告）
	<b>継続事業</b>
売上高	<b>売上収益</b>
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販管費	販管費
<b>営業利益</b>	<b>事業利益（CE）</b>
営業外収益・費用	その他収益・費用
経常利益	営業利益
特別損益	金融収益・費用
	持分法投資損益
税引前利益	<b>税引前利益</b>
	継続事業からの当期利益
	<b>非継続事業</b>
	非継続事業からの当期利益
当期利益	当期利益
非支配持分に帰属する当期利益	<b>親会社の所有者に帰属する当期利益</b>
親会社の株主に帰属する当期利益	非支配持分に帰属する当期利益

IFRS基準の「**事業利益（CE）**」は日本基準の「**営業利益**」に相当

## ▶本日のポイント

### 2024年3月期 第1四半期 業績の総括

#### 2024年3月期 1Q実績 前年同期比、減益

- 日本を含む世界の住宅設備・建材需要は、1Qにおいて総じて低調に推移
- 生産数量減少による固定費負担増が採算面での課題
- 変動費の上昇は、原材料も含め安定、もしくは、昨年比プラスに寄与
- 日本では当社の値上げが先行している為、厳しい競合環境が1Qまで継続
- 日本の断熱リフォーム需要による利益貢献は予定よりも早く発現
- 海外市場は、特に欧州での需要減退が過去20年で最悪の状況
- 海外を中心に需要回復に備え、構造改革を積極的に推進開始
- 通期事業利益予想額<sup>(1)</sup>の8割程度が下期に実現するという見通し<sup>(2)</sup>に変更なし。足元の業況および1Qの実績に基づき、2Q（3カ月）の事業利益は45億円程度との予想に変更なし（構造改革および将来投資のための一時費用（約35億円）を除くと80億円程度）



(1) 2023年4月28日公表の2024年3月期 通期事業利益予想額は、400億円。

2023年3月期 決算短信 [IFRS]（連結） <https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/tdnet/2268021/00.pdf>

(2) 2023年3月期 決算説明会 スクリプト [https://www.lixil.com/jp/investor/ir\\_event/pdf/J\\_20230428\\_Earnings\\_transcript.pdf#page=8](https://www.lixil.com/jp/investor/ir_event/pdf/J_20230428_Earnings_transcript.pdf#page=8)

2

## ▶本日のポイント

### 足元の事業環境：欧州景気の動向

- 当社最大の利益源である欧州地域の需要軟化継続
- 特に、ドイツ・フランス・オランダ等の主要市場の需要が大幅減少
- 住宅市場価格の下落、金利の上昇の一方で、インフレ継続により住宅関連の投資意欲が大幅に減退
  - ✓ GDPに対する住宅ローン残高<sup>(1)</sup>：蘭100%超、仏65%、独55%、日40%
  - ✓ ECB政策金利は、過去1年半で4%に上昇
  - ✓ 一方で、エネルギー・食品等のインフレは継続。加えて住宅価格は昨年来下落傾向
  - ✓ 上記により、消費や投資は住宅設備には向かず、将来の価格上昇が見込まれる他商材へ
  - ✓ 過去の不況では、他商材も同時にデフレ傾向となり、異なる状況
- 特にドイツでは、ヒートポンプに対する補助金があり、消費者・工事業者ともにヒートポンプの取り替えを優先



(1) 出所：Eurostat、当社調べ

3

## ▶本日のポイント

### 足元の事業環境：他地域・事業の状況

#### LWT事業（日本）

- ✓ 浴室は好調なるも、キッチン・トイレが厳しい事業環境
- ✓ トイレは回復の兆しを見せるも、キッチンは10月以降に回復を見込む
- ✓ 競争環境の平常化により、3Q以降に本格的な回復を見込む

#### LWT事業（海外）

- ✓ **米州**：顧客の需要は低迷するも、商品・販売先の転換は順調に推移
- ✓ **アジア太平洋**：ベトナムが景気調整に入るも、他地域は堅調
- ✓ **中国**：不動産市況は引き続き低迷

#### LHT事業

- ✓ 断熱リフォーム窓の売上が好調に推移
- ✓ 競争環境の平常化により、2Qより売上回復を予定
- ✓ エクステリア・インテリアは想定よりも回復に遅れ
- ✓ ビル事業はコスト上昇に即した価格政策が奏功し、収益性は回復の傾向

## ▶本日のポイント

### 今後の見通し

- 景気回復の時期は地域によって異なるが、12月末までには正常化を予想
- 今期の予想事業利益の大半は3-4Qに実現を見込む
- 欧州景気の動向は想定より悪化なるも、日本の断熱リフォーム向け売上が予想よりも好調に進捗
- 国内の競争環境の平常化により、数量的なシェアの回復を見込む。  
一方、新築着工戸数（特に持家）の下落幅が大きく、量産効果が得られず。  
同様の傾向は今後も継続するも、断熱商材・環境商材に対する需要の取り込みに注力し影響の極小化に努める
- 原材料等のコストに関しては世界景気の減退もあり、安定もしくは低下。ただし、インフレによるサプライヤーからの価格改定は、今後も合理的に判断し、受け入れ
- 海外事業は生産性改善のための構造改革を加速

## 2024年3月期 第1四半期 決算ハイライト

### 前年同期比で減益

#### ■ 売上収益 3,592億円、前年同期比 11億円減

- 1Q3ヵ月（増減率）：国内 +2%、海外 -6%（為替影響除く、-13%）

#### ■ 事業利益 37億円、前年同期比 32億円減

- 1Q3ヵ月（事業利益内訳）：LWT国内 53億円、LWT海外 -16億円、LHT 84億円、連結調整/他 -84億円

#### ■ 最終四半期利益<sup>(1)</sup> 4億円、前年同期比 54億円減

- 事業利益の減少、前年の土地等資産の譲渡益の剥落、金融費用の増加を主因として税前利益117億円の減少

LIXIL (1) 最終四半期利益=親会社の所有者に帰属する四半期利益

6

## 2024年3月期 第1四半期 連結業績結果

(億円)	第1四半期 3ヵ月			
	23/3期	24/3期	前年同期比	%
売上収益	3,603	3,592	-11	-0.3%
売上総利益	1,164	1,156	-7	-0.6%
(%)	32.3%	32.2%	-0.1pt	-
販管費	1,094	1,119	+25	+2.3%
事業利益 <sup>(1)</sup>	70	37	-32	-46.3%
(%)	1.9%	1.0%	-0.9pt	-
非継続事業を含む 最終四半期利益 <sup>(2)</sup>	57	4	-54	-93.4%
EPS (円)	19.79	1.31	-18.48	-93.4%
EBITDA <sup>(3)</sup>	269	234	-35	-13.0%
(%)	7.5%	6.5%	-0.9pt	-

#### ■ 売上総利益率：前年同期比0.1pt悪化

#### ■ 販管費：為替影響を含む海外での人件費、販売活動量の増加を主因として、前年同期比+25億円（日本-23億円、海外+23億円、為替換算影響+25億円）。販管費率は、0.8pt悪化

#### ■ 事業利益率：前年同期比0.9pt悪化

LIXIL (1) 日本基準の「営業利益」に相当  
(2) 親会社の所有者に帰属する四半期利益

(3) EBITDA=事業利益+減価償却費

7

## 2024年3月期 第1四半期 業績概況

LWTは、主として欧州・米州での需要低迷影響により、減収減益。LHTは、国内の新築需要低迷の影響を、リフォーム売上がカバーし、大幅改善を達成

		第1四半期 3ヵ月		
		23/3期	24/3期 <sup>(1)</sup>	前年同期比
(億円)				
LWT	売上収益	2,210	2,141	-69
	事業利益	132	38	-94
LHT	売上収益	1,430	1,474	+44
	事業利益	31	84	+52
全社/ 連結調整	売上収益	-37	-23	+14
	事業利益	-94	-84	+10
合計	売上収益	3,603	3,592	-11
	事業利益	70	37	-32

組替影響<sup>(1)</sup>

LWT：売上収益 +1億円、事業利益 -9億円

LHT：売上収益 -17億円、事業利益 +10億円

連結調整：売上収益 +15億円、事業利益 -0億円

為替影響<sup>(2)</sup>

1Q3ヵ月：売上収益 +88億円、事業利益 +5億円

**LIXIL**

(1) 従来LHTのみに帰属していた海外子会社の損益を、管理体系を見直し、LWTへの組替えを24/3期より実施。これにより同社の報告セグメントをLWTとLHTに変更

(2) 在外子会社からの損益の為替換算影響額

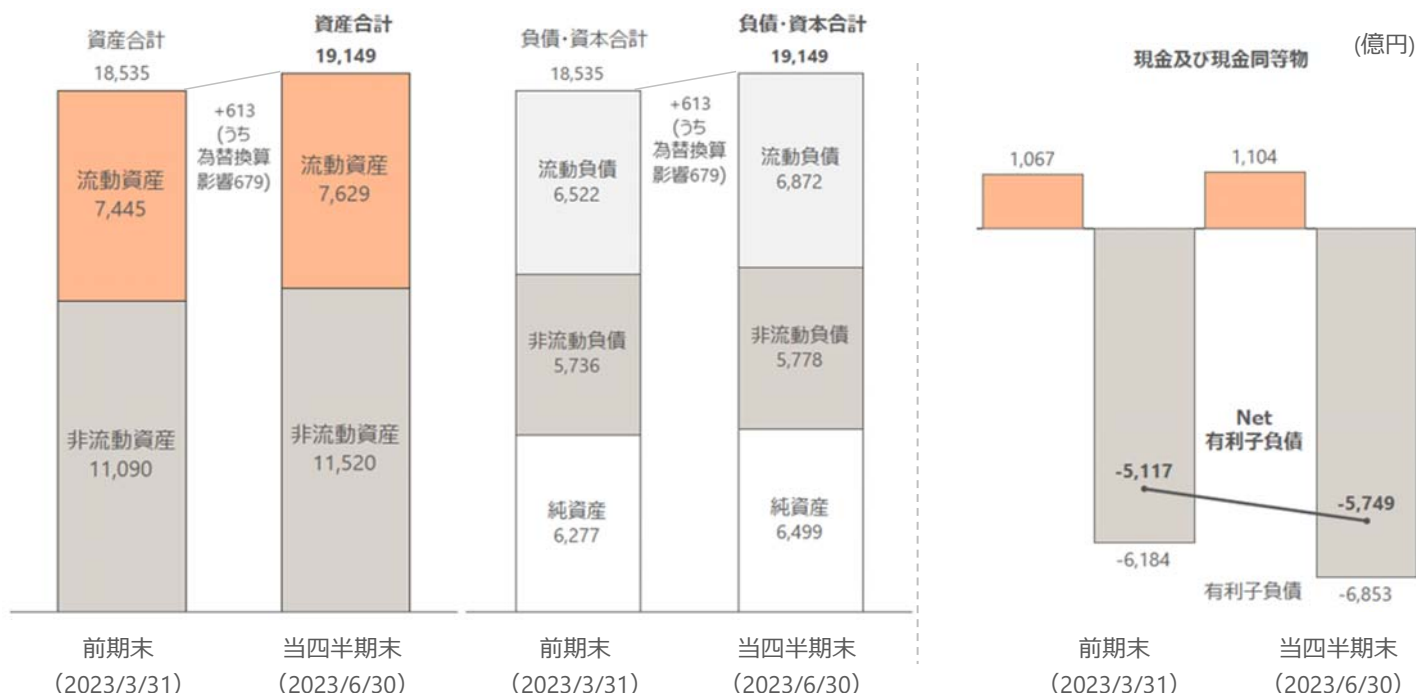
8

## 連結財政状態

為替換算影響大きく、総資産は微増。

有利子負債は、運転資本増加ならび社債償還に備えた資金調達により増加。

自己資本比率は、33.8%

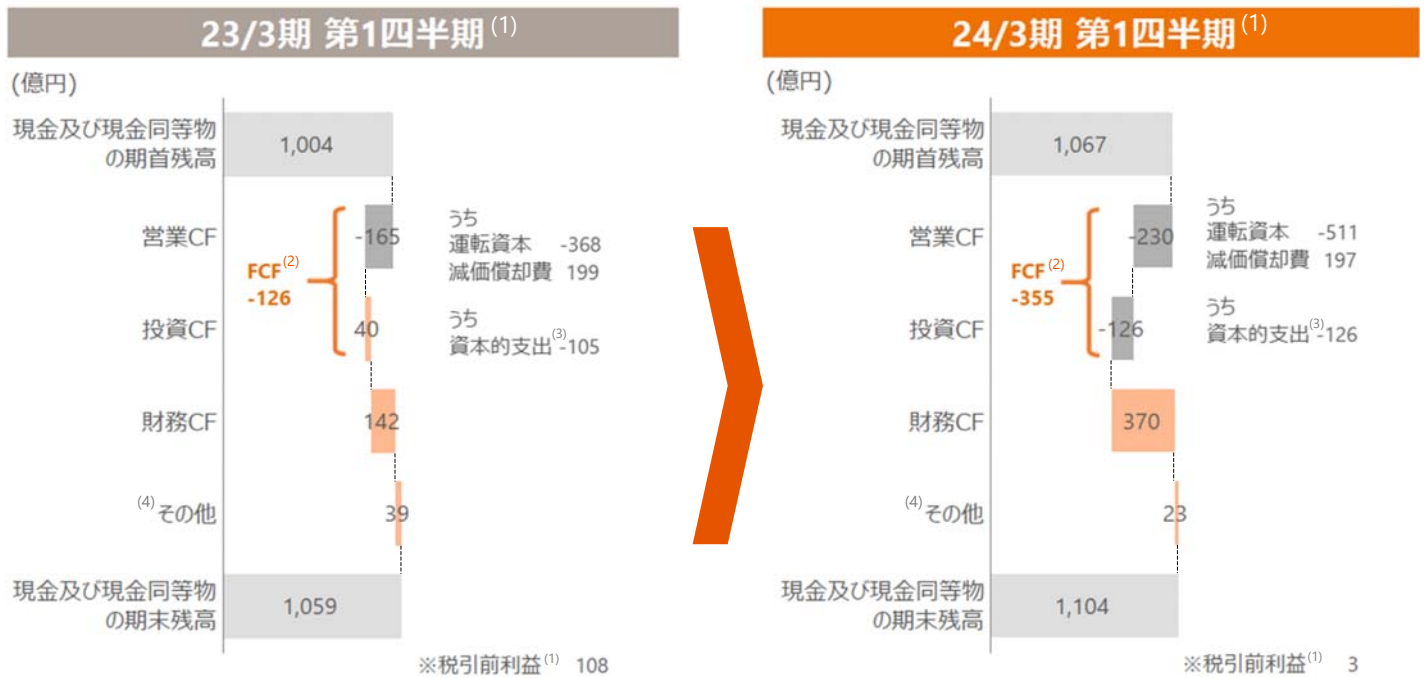


**LIXIL**

9

## ▶ キャッシュフローの状況及び現金残高

フリーキャッシュフローは、「パートナーシップ構築宣言」対応による営業債務の減少、税引前利益の減少等により前年同期比で230億円減少



(1) 非継続事業を含む  
 (2) フリーキャッシュフロー (FCF) = 営業CF+投資CF で計算

(3) 資本的支出=有形資産の取得+無形資産の取得 (IFRS16リースによる使用权資産の取得を除く)  
 (4) 「その他」= 為替換算影響額

## ▶ セグメント別決算の概要



ウォーターテクノロジー事業 (LWT)



ハウジングテクノロジー事業 (LHT)



## ウォーターテクノロジー事業 (LWT)

### 日本事業・海外事業ともに、減収減益

	(億円)	24/3期 1Q実績	前年同期比		24/3期 業績予想
			増減	%	
日本	売上収益	991	-1	-0.1%	4,295
	事業利益	53	-20	-27.3%	255
	%	5.4%	-2.0pt	-	5.9%
海外 <sup>(1)</sup>	売上収益	1,150	-68	-5.6%	5,155
	事業利益	-16	-74	-	275
	%	-	-	-	5.3%
LWT合計	売上収益	2,141	-69	-3.1%	9,450
	事業利益	38	-94	-71.4%	530
	%	1.8%	-4.2pt	-	5.6%

#### 売上収益

- **日本**：価格改定、及び、快適性の向上を目的としたリフォーム売上増も、新築の売上減により、前年並み
- **海外<sup>(1)</sup>**：各地域における需要の軟化影響により、現地通貨ベース、円貨共に売上収益減少
- **海外売上比率**：前年同期比1.4pt減の53.7%

#### 事業利益

- **日本**：新築向け売上減少による粗利減少を、価格改定と固定費削減でカバーしきれず、前年同期比、減益
- **海外<sup>(1)</sup>**：原材料費及び物流費の減少により一部影響を相殺するも欧米における売上収益減少を主因として前年同期比、減益

LIXIL (1) 為替影響を除く前年同期比：売上収益 -156億円、-13%。事業利益 -80億円

12

## ウォーターテクノロジー事業 (LWT) 海外地域別売上収益

地域別：マネジメントベース LWT海外合計：制度会計ベース <sup>(1)</sup> (億円)	24/3期 1Q実績	前年同期比 現地通貨 ベース	24/3期 業績予想	前年同期比 現地通貨 ベース
アメリカ	441	-4%		+8% <sup>(2)</sup>
欧州、中東、アフリカ地域	430	-17%		+4%
中国	115	-7%		0%
アジア太平洋地域	109	-6%		+10%
連結調整・他	56	-		
<b>LWT海外</b>	<b>1,150</b>	<b>-6%</b>	<b>5,155</b>	<b>+4%</b>

#### ■ アメリカ

需要軟化により、現地通貨ベースで減収。円貨では増収

- ✓ 需要軟化により、現地通貨ベースで減収
- ✓ 2Q以降、カラー製品のさらなる拡充により収益拡大を目指す

#### ■ 中国

不動産市況低迷継続により、現地通貨ベース、円貨共に減収

- ✓ 今後の需要回復状況を注視

#### ■ 欧州、中東、アフリカ地域

需要軟化により、現地通貨ベース、円貨共に減収

- ✓ 経済環境が不透明な中、裁量支出が抑制され、欧州市場の大半で建設業界における事業活動が低下するなど、需要が軟化したことにより減収

#### ■ アジア太平洋地域

地域により売上増減あり、現地通貨ベースで減収。円貨では増収

- ✓ 地域により状況に変化あり。インドは堅調、タイは昨年並みを継続、ベトナムは不動産市況軟化による小売りチャネルの減速とプロジェクト遅延により減収

LIXIL (1) 制度連結会計 為替レート：24/3期 1Q実績1USD=138.11円、1EUR=150.35円  
マネジメントベース為替レート：24/3期 1USD=135.0円、1EUR=137.7円

(2) 23/3期のM&A影響含む

13

## ハウジングテクノロジー事業 (LHT)

日本事業は、国策による補助金を背景に窓リフォーム売上が堅調に推移し、増収増益。  
海外事業は、収益は微減なるも、事業利益は昨年並みを維持

	(億円)	24/3期 1Q実績	前年同期比		24/3期 業績予想
			増減	%	
日本	売上収益	1,414	+50	+3.7%	5,830
	事業利益	82	+52	+175.6%	325
	%	5.8%	+3.6pt	-	5.6%
海外	売上収益	60	-6	-9.3%	235
	事業利益	2	+0	+28.1%	5
	%	3.6%	+1.1pt	-	2.1%
LHT合計 <sup>(1)</sup>	売上収益	1,474	+44	+3.1%	6,065
	事業利益	84	+52	+167.5%	330
	%	5.7%	+3.5pt	-	5.4%

### 売上収益

- 価格改定、及び住宅性能・快適性の向上を目的としたリフォーム需要の増加により、前年同期比増収

### 事業利益

- 価格改定の浸透とリフォーム向け高性能サッシ販売の好調により収益性を回復。新築需要の低迷の傾向は継続を見込むが、売り伸ばし策により利益率改善を目指す
- 固定費削減の継続とコスト上昇分の価格への転嫁により、引き続き利益率の改善に注力

LIXIL (1) 2024年3月期1Q実績 (ご参考)

LHTビル事業除く 売上収益 1,254億円、事業利益 93億円、事業利益率 7.4%  
ビル事業売上収益 220億円、事業利益 -9億円

14

## （ご参考）データ集



## 商品・サービス別売上状況

国策を背景に「住宅サッシ」の売上が好調。窓リフォーム対象商品の売上は昨年同期比約3倍を達成。2Q以降も対象商品の需要は好調維持する予測

セグメント	主要商品名	23/3期 通期実績	23/3期 1Q実績	24/3期 1Q実績	前年 同期比 (%)	前年同期比 (%)				
						23/3期				24/3期 1Q
						1Q	2Q	3Q	4Q	
LWT	衛生機器**	1,065	245	240	-2.2%	+0.4	+6.7	+2.1	-2.1	-2.2
	バスルーム	874	213	219	+3.0%	-2.4	+4.0	+1.3	+4.1	+3.0
	洗面化粧台**	387	92	92	+0.7%	+1.8	-1.0	-1.7	-2.7	+0.7
	キッチン	1,009	247	234	-5.2%	+0.3	-2.5	-2.1	+0.6	-5.2
	タイル	319	74	73	-1.1%	-4.2	-1.2	-2.5	-2.7	-1.1
LHT	住宅サッシ	1,655	407	466	+14.6%	-1.2	-2.1	-0.5	+7.8	+14.6
	エクステリア	1,015	260	243	-6.6%	0.0	+3.2	+1.8	-4.5	-6.6
	インテリア建材	627	151	140	-7.4%	+1.4	+7.8	+0.7	-6.7	-7.4
	その他LHT	437	107	109	+1.8%	+17.0	+8.1	+2.8	+0.7	+1.8
	ビルサッシ	957	197	220	+12.1%	+9.3	+13.3	+5.0	+2.0	+12.1
	住宅・サービス事業	270	68	62	-9.5%	-4.8	-11.9	-7.9	-17.8	-9.5
	海外売上 <sup>(1)</sup>	5,233	1,284	1,210	-5.8%	+11.3	+13.9	+9.3	+13.7	-5.8
売上合計	14,960	3,603	3,592	-0.3%	+4.2	+6.3	+3.4	+5.1	-0.3	

(ご参考) \*\*「衛生機器」「洗面化粧台」に含まれる水栓金具の売上状況

LWT	水栓金具	247	57	61	+7.3%	-0.3	+3.4	-6.1	+4.1	+7.3
-----	------	-----	----	----	-------	------	------	------	------	------

LIXIL (1) 海外水まわり事業の商品別売上状況については、p.18参照

16

## 日本 - 国内リフォーム戦略の進捗：リフォーム向け売上の拡大への注力

リフォーム商材売上構成比3.4pt上昇。窓リフォーム向けを中心に、LHTのリフォーム比率が大幅に拡大。LWTも浴室を中心としたリフォーム需要を取り込み、リフォーム比率向上

	第1四半期 3ヵ月				
	(億円)	23/3期 実績 <sup>(1)</sup>	24/3期 実績	増減	前年 同期比
リフォーム商材売上		786	867	+81	+10.3%
LWT-J					+4%
LHT					+18%
ビル事業除く					+19%
ビル事業					+10%
リフォーム売上構成比		41%	45%	+3.4pt	

### セグメント別リフォーム売上構成比

### リフォーム加盟店の推移

	23/3期 1Q	24/3期 1Q	増減	店	22年	23年	23年
					3月	3月	6月
LWT	49% <sup>(1)</sup>	51%	+2.3pt	LIXILリフォームショップ (FC)	536	544	542
LHT	35%	39%	+4.3pt	LIXILリフォームネット (ボランティア)	11,264	11,224	11,228
国内・計	41%	45%	+3.4pt	リクシルPATTOリフォーム サービスショップ	3,804	3,833	3,832

LIXIL (1) 同一基準に基づく比較を可能とするため、前年同期のリフォーム売上高を遡及修正

17

## 海外 - ウォーター事業における海外事業の成長促進の進捗

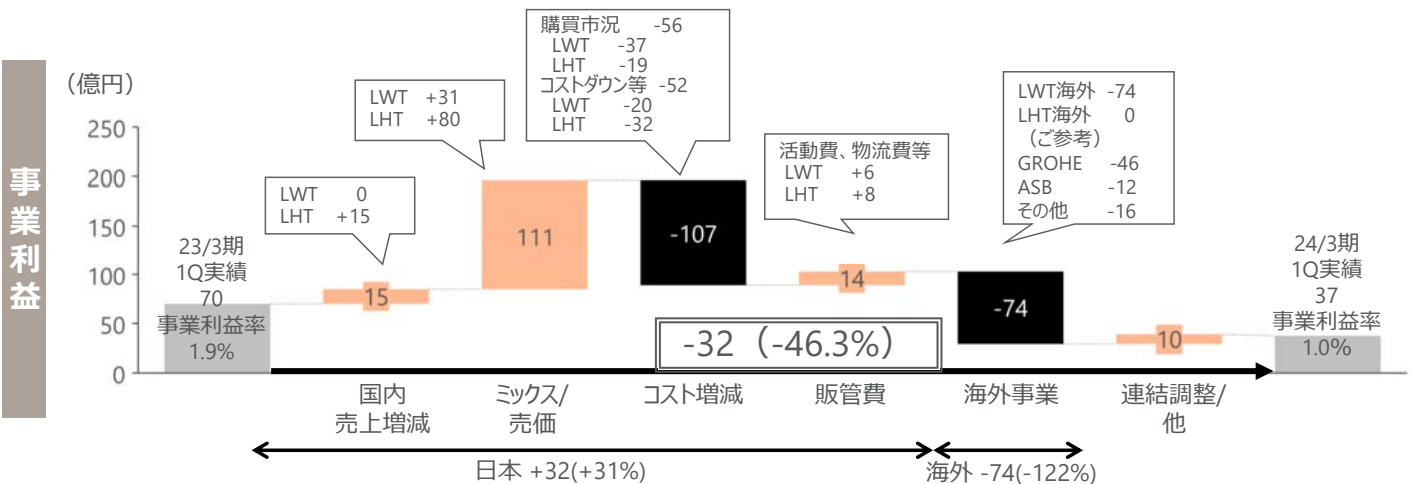
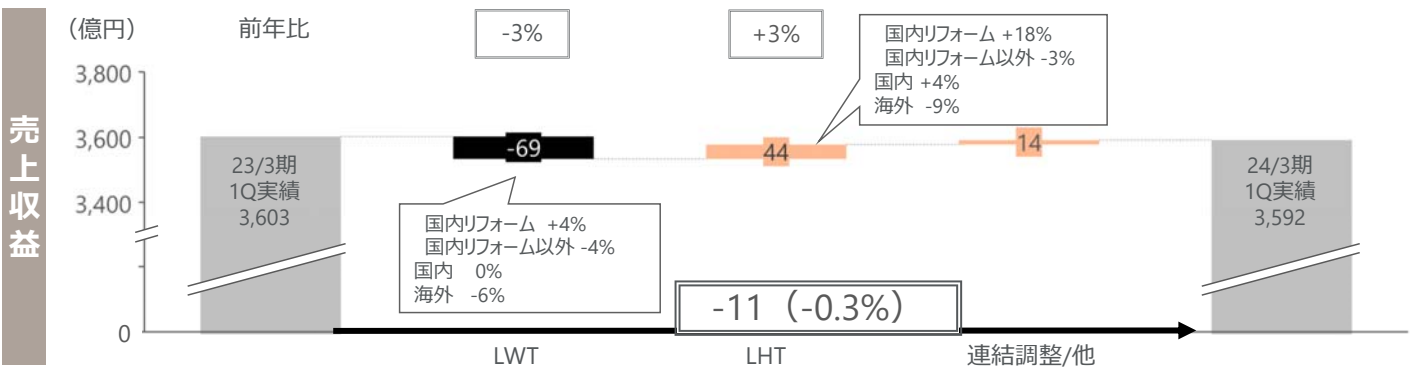
ブランド・ポートフォリオやグローバルな生産体制、先進技術を活かすことで、ポートフォリオ・ギャップを埋め、海外事業の成長を促進<sup>(1)</sup>

	24/3期 第1四半期 3ヵ月				
	海外事業合計	アメリカ	欧州、中東、アフリカ地域	中国	アジア太平洋地域
<b>売上構成比</b>					
水栓金具 (浴室)	37%	11%	59%	48%	42%
衛生陶器等	41%	52%	27%	41%	54%
水栓金具 (キッチン)	7%	4%	13%	5%	3%
浴槽・シャワーシステム	10%	25%	0%	0%	1%
その他	4%	8%	0%	5%	1%
合計	100%	100%	100%	100%	100%
<b>売上伸び率</b>					
水栓金具 (浴室)	-19%	-22%	-22%	-14%	-1%
衛生陶器等	-3%	-3%	-2%	-3%	-2%
水栓金具 (キッチン)	-13%	-21%	-13%	+12%	-9%
浴槽・シャワーシステム	-13%	-13%	-56%	-30%	-28%

LIXIL (1) 統合報告書2023 p.33、43-44「LIXIL Playbookの優先課題『ウォーター事業における海外事業の成長促進』」  
[https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/ir\\_material\\_for\\_fiscal\\_ym37/137629/00.pdf#page=34](https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/ir_material_for_fiscal_ym37/137629/00.pdf#page=34)

18

## 2024年3月期 第1四半期 売上収益・事業利益の増減 (前年同期差)



## 2024年3月期 第1四半期 その他収益・費用、金融収益・費用 内訳

(億円)	23/3期 1Q実績	24/3期 1Q実績	増減
売却目的で保有していた資産の処分益	52	-	-52
その他	16	12	-3
<b>その他の収益</b>	<b>68</b>	<b>12</b>	<b>-56</b>
有形固定資産処分損	7	3	-3
減損損失	1	1	+0
売却目的で保有する処分グループを売却コスト控除後の公正価値で認識したことにより発生した損失	-	11	+11
その他	10	11	+0
<b>その他の費用</b>	<b>17</b>	<b>26</b>	<b>+8</b>
受取利息	3	3	+1
受取配当金	7	5	-2
デリバティブ評価益	1	-	-1
為替差益	2	2	+0 (A)
その他	-	0	+0
<b>金融収益</b>	<b>13</b>	<b>11</b>	<b>-2</b>
支払利息	11	22	+12
デリバティブ評価損	-	5	+5 (A)
その他	3	4	+1
<b>金融費用</b>	<b>13</b>	<b>31</b>	<b>+18</b>

- その他の費用には資産流動化事業譲渡<sup>(1)</sup>関連費用含む
- 金融費用は金利上昇影響等により増加

(A)「為替差益」は「デリバティブ評価損」と両建てで表示されています。

	24/3期 1Q実績
為替差益	2
デリバティブ 評価損	-5
Net	-3 損

LIXIL (1) 2023年6月26日公表ニュースリリース「株式会社LIXILリアルティの資産流動化事業をトーセイ株式会社に譲渡」  
[https://newsroom.lixil.com/ja/20230626\\_01](https://newsroom.lixil.com/ja/20230626_01)

20

## セグメント別 実績及び通期業績予想

	(億円)	23/3期 1Q			24/3期 1Q <sup>(1)</sup>				24/3期 通期予想			
		国内	海外	計	国内	海外	計	前年 同期比%	国内	海外	計	前期比 %
LWT	売上収益	992	1,218	2,210	991	1,150	2,141	-3.1%	4,295	5,155	9,450	+3.2%
	事業利益	73	59	132	53	-16	38	-71.4%	255	275	530	+12.2%
	%	7.4%	4.8%	6.0%	5.4%	-	1.8%	-4.2pt	5.9%	5.3%	5.6%	+0.4pt
LHT	売上収益	1,363	66	1,430	1,414	60	1,474	+3.1%	5,830	235	6,065	+1.4%
	事業利益	30	2	31	82	2	84	+167.5%	325	5	330	+70.4%
	%	2.2%	2.6%	2.2%	5.8%	3.6%	5.7%	+3.5pt	5.6%	2.1%	5.4%	+2.2pt
連結調整・他 <sup>(2)</sup>	売上収益			-37			-23	-			-215	-
	事業利益			-94			-84	-			-460	-
LIXIL <sup>(2)</sup>	売上収益	2,355	1,284	3,603	2,404	1,210	3,592	-0.3%	10,125	5,390	15,300	+2.3%
	事業利益	103	61	70	135	-13	37	-46.3%	580	280	400	+55.4%
	%	4.4%	4.7%	1.9%	5.6%	-	1.0%	-0.9pt	5.7%	5.2%	2.6%	+0.9pt

LIXIL (1) 従来LHTのみに帰属していた海外子会社の損益を、管理体系を見直し、LWTへの組替えを24/3期より実施。これにより同社の報告セグメントをLWTとLHTに変更。詳細はp.8ご参照

(2) 国内・海外の売上収益/事業利益の合計と「計」の金額の差は、連結調整・他の金額

21

## 主要海外子会社

ASB (ASD Holdings) (百万米ドル)	23/3期 1Q実績	24/3期 1Q実績	前年同期比
為替レート(期中平均レート)	129.04	<b>138.11</b>	-
売上収益	339	<b>327</b>	-4%
事業利益	-5	<b>-14</b>	-
事業利益率	-	-	-

決算期	23/3期 期末残高	24/3期 1Q (3カ月)		
		償却額	その他 <sup>(1)</sup>	期末残高
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	133.53	138.11	-	<b>144.99</b>
のれん <sup>(2)</sup>	247	-	0	<b>248</b>
無形資産 <sup>(2)</sup>	249	-2	0	<b>248</b>

Grohe Group (グローエ) (百万ユーロ)	23/3期 1Q実績	24/3期 1Q実績	前年同期比
為替レート(期中平均レート)	138.24	<b>150.35</b>	-
売上収益	461	<b>373</b>	-19%
事業利益	42	<b>8</b>	-81%
事業利益率	9%	<b>2%</b>	-7.0pt

決算期	23/3期 期末残高	24/3期 1Q (3カ月)		
		償却額	その他 <sup>(1)</sup>	期末残高
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	145.72	150.35	-	<b>157.60</b>
のれん <sup>(2)</sup>	1,201	-	-5	<b>1,196</b>
無形資産 <sup>(2)</sup>	1,404	-3	0	<b>1,401</b>

**LIXIL**

(1) 為替換算差額など

(2) のれん及びその他の無形資産とその評価については、2023年3月期 有価証券報告書 p.133-135「14. のれん及びその他の無形資産」に記載  
[https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/yuho\\_pdf/S100OB6V/00.pdf#page=133](https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/yuho_pdf/S100OB6V/00.pdf#page=133)

22

## （ご参考）事業関連・ESG関連トピックス

## 事業・ESG関連トピックス

### 脱炭素・資源循環型社会への貢献

#### 低炭素型アルミ型材「PremiAL」シリーズの 拡充に向け前進



- 原材料にリサイクルアルミを70%使用した、「PremiAL」シリーズ第一弾の「PremiAL R70」を2022年より展開
- 国内初<sup>(1)</sup>となるリサイクルアルミ使用比率100%の「PremiAL R100」<sup>(2)</sup>をビル向け建材から今秋展開予定
- 「PremiAL」シリーズに関しては、ビル建設におけるエンボデイド・カーボンの削減に寄与するとして、日本・アジアを中心に引合い増加中

### 気候変動対策を通じた緩和と適応

#### 全館空調システム「エコエアFine」新発売<sup>(3)</sup>



- 健康で快適、省エネな暮らしの実現に向けて、さらなる住宅の高性能化を推進すべく、全館空調市場に参入
- 独自技術により、高性能住宅向けに業界最小クラスの低容量・低風量の全館空調システムを実現
- 全館空調システムにより部屋間の温度差を少なくすることで、ルームエアコンと比較して冷暖房費を抑えることが可能

LIXIL

- (1) 2023年4月時点、当社調べ  
(2) ニュースリリース [https://newsroom.lixil.com/ja/20230420\\_01](https://newsroom.lixil.com/ja/20230420_01)  
(3) ニュースリリース [https://newsroom.lixil.com/ja/20230525\\_01](https://newsroom.lixil.com/ja/20230525_01)

24

## 事業・ESG関連トピックス

### 国内事業の基盤強化

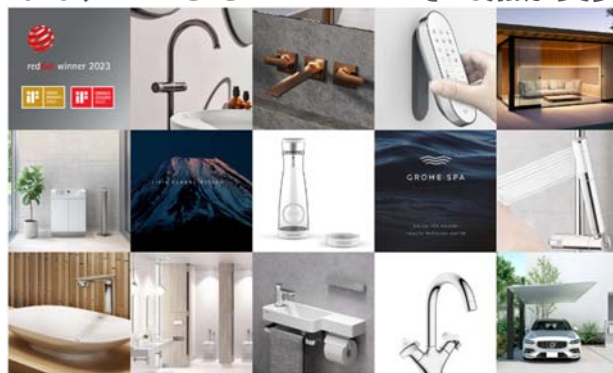
#### 4月発足のリビング事業部にて、 「LDKデザインシミュレーター」オープン<sup>(1)</sup>



- 2023年4月、国内事業の基盤強化に向け、LWT日本事業のキッチンと洗面、LHTのインテリア事業を統合した「リビング事業部」を始動
- リビング空間全体で統一された提案力の向上に加え、事業全体における最適化を推進
- 消費者はWebサイト上で、LDK空間を自由にシミュレーション<sup>(2)</sup>、保存、シェアが可能になり、提案効率化に貢献

### 国内外でブランド価値を強化、構築

#### 世界三大デザイン賞のRed Dot Design Award、iF DESIGN AWARDで20点が受賞<sup>(3)</sup>



- エンドユーザーの嗜好やライフスタイルの変化に社内デザインチームが対応
- GROHE、American Standard、INAX、exsiorなど幅広く選出、LIXILのブランドポートフォリオの強化・構築に貢献
- 2011年より国内外で受賞したデザイン賞は累計600点を超え、エンドユーザーの信頼獲得に貢献

LIXIL

- (1) ニュースリリース [https://newsroom.lixil.com/ja/20230424\\_01](https://newsroom.lixil.com/ja/20230424_01)  
(2) <https://digisim.lixil.co.jp/simulator/kit/lp/>  
(3) ニュースリリース [https://newsroom.lixil.com/ja/230530\\_lixildesignaward](https://newsroom.lixil.com/ja/230530_lixildesignaward)

25



## 外部評価

### Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index

Morningstarの「Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index」に選定 (2023年4月)

免責事項は当社ウェブサイト<sup>(1)</sup>をご参照ください。

MORNINGSTAR GenDi J

Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index

TOP CONSTITUENT 2023

### S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」の構成銘柄に選定 (6年連続、2023年7月)



### DX銘柄2023

「デジタルトランスフォーメーション銘柄」に選定 (2年連続、2023年5月)



### FTSE Russell Indexes<sup>(2)</sup>

FTSE Russell社の「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」(2年連続、2023年6月) 「FTSE4Good Index Series」「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定 (7年連続、2023年6月)



FTSE4Good



FTSE Blossom Japan



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

### MSCI日本株女性活躍指数(WIN)

MSCI社の「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構成銘柄に選定 (7年連続、2023年6月)

免責事項は当社ウェブサイト<sup>(1)</sup>をご参照ください。

### 2023 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

LIXIL

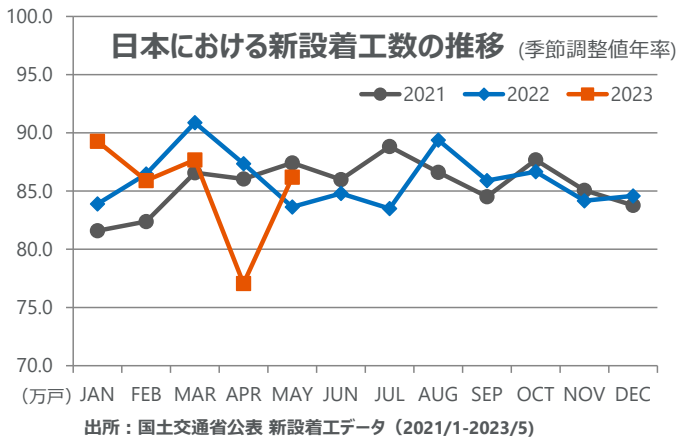
(1) 当社ウェブサイト 社外からの評価・表彰 <https://www.lixil.com/jp/about/evaluation.html>

(2) FTSE4Good Index Series <https://www.ftserussell.com/ja/products/indices/ftse4good>

FTSE Blossom Japan Index <https://www.ftserussell.com/ja/index/spotlight/ftse-blossom-japan-index>

26

## 事業環境

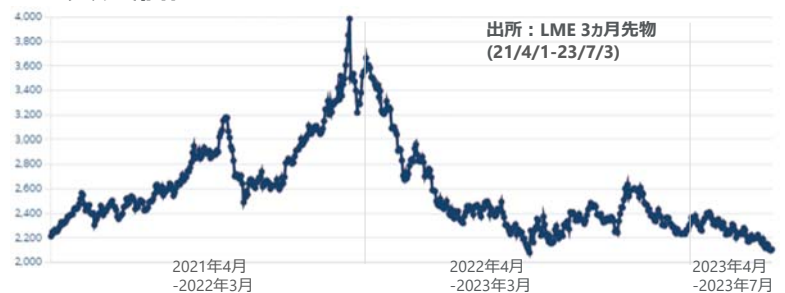


### 新築着工水準 (対前年比)

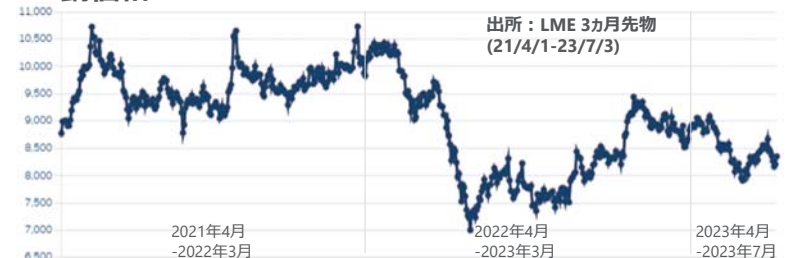
- 2023/1-3 : +0.6%
- 2023/1-5 : -1.6%

	2023年1月-5月 (5ヵ月)		2023年4月-5月 (2ヵ月)	
	戸数	前年比	戸数	前年比
総数	338,534	-1.6%	136,811	-4.7%
持家(1)	89,929	-10.1%	37,450	-11.6%
貸家	138,698	+3.2%	57,380	+3.4%
分譲マンション	50,051	+5.0%	16,933	-16.4%
分譲戸建(2)	57,338	-3.5%	23,977	-1.6%
戸建合計(1)+(2)	147,267	-7.6%	61,427	-7.9%

### (米ドル) アルミ価格



### 銅価格



為替 (期中平均レート)	22/3期 実績	23/3期 実績	24/3期 計画前提
米ドル	112.86円	134.95円	135.0円
ユーロ	131.01円	141.24円	137.7円

原材料価格の 実績	22/3期 実績	23/3期 実績	24/3期 計画前提
アルミ価格 (購入ベース)	30.5万円/トン	39.2万円/トン	38.5万円/トン
銅合金価格	86.8万円/トン	98.9万円/トン	100.1万円/トン

LIXIL

27





この資料には、(株)LIXILの将来についての計画と予測の記述が含まれています。  
これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により  
当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

MAKE BETTER HOMES A REALITY FOR EVERYONE, EVERYWHERE  
世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現